

第4回全日本シニア軟式野球大会(ドゥクラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

公益財団法人全日本軟式野球連盟

2021年5月吉日

《全日本シニア軟式野球大会に参加する皆さんへ》

- ・大会によって「クラスター発生・感染拡大が生じないように、日頃から感染予防対策を徹底すること。やむを得ず感染してしまうケースもあるため、その患者や家族への人権に配慮し偏見や誹謗中傷を生み出さないこと。」が重要です。
- ・チーム(対戦相手も含む)及びスタッフ、審判員、大会関係者が安全、安心して軟式野球を楽しむためにも「体調不良のない者」かつ「感染予防対策を日頃から行っている者」が大会に参加することが大前提になります。
- ・軽微な症状でもウイルスを保持し、他者へ感染させる可能性があります。軽い感冒(風邪)の症状を見逃さないことが大切です。熱中症と風邪の症状、感染症状は似ています。従って体調がおかしいと感じたら「積極的に休むこと」が大切です。
- ・指導者ならびにチーム代表者は、選手の異変に敏感になり、日常的にチーム内の選手及びスタッフの健康チェックのみならず、そのご家族の健康状況にも変化がないかななども情報収集を心がけ、チーム内でクラスターが発生しないように注意を払って下さい。
- ・本紙は、本大会に参加する選手およびチーム関係者、審判員、大会運営者、観客の全ての皆さんの感染予防対策ガイドラインになります。ガイドラインを遵守し感染予防対策を実施して頂きますようお願い致します。

《1. 共通感染予防対策》

①毎日の健康チェックと行動記録

- ・体温測定：起床直後、球場への出発前等決まった時間での体温記録。(必須)
- ・行動記録：倦怠感、咳、咽頭痛、食欲低下の有無、睡眠時間等のチェック、食事や出向いた場所・同行者記録や人混みに入る等の感染リスクが高い状況が生じた場合を詳しく記録。(提出は適宜)

※行動記録は、大会2週間前から各自記入すること。(様式は全日本軟式野球連盟HPに掲載)なお、大会本部より、提出を求められた際には、速やかに提出できるように準備しておくこと。

※体温が37.5度以上及び発熱症状がある場合、倦怠感、咳、咽頭痛、味覚・嗅覚異常、息苦しさ(呼吸困難)、などの体調不良が見られる場合は、勇気を持って休む。同居者に上記症状等がある場合も同様。

②マスクの着用

- ・競技およびウォームアップ実施以外の常時マスクの着用。

第4回全日本シニア軟式野球大会(ドゥクラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

- ・日常的にマスクを着用し、移動中の着用にも努めること。
- ・マスクを外さざるを得ない場合には、ソーシャルディスタンス(2m)が保たれていない状況下での会話・声掛け・大声は控える。
- ・競技中の選手間のコミュニケーションのための声掛け、発声については相手との距離や飛沫を考慮し、一程度の距離を保つことや、向き合わないなどの工夫をする。

③手指消毒の励行

- ・こまめな手洗いと手指消毒を行うこと。

④人混みを避ける

- ・3密(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避。
- ・人混みにやむを得ず入る場合は、正しくマスクを着用すること。
- ・不要不急の外出、同居家族以外との会食は控える。
- ・日常生活の場面でも、ソーシャルディスタンス(人との距離を2m、最低1m)を確保するように留意する。
- ・「新しい日常」「新しい生活様式」に適応し、飲食については、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。また、同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みは避け、大人数での打ち上げは控える。

《2. チーム関係者の感染予防対策》

指導者、チーム代表者、チーム関係者は、感染予防対策を念頭に置きながら選手への指導や選手と接触を行うこと。

(1) 自宅・宿泊施設について

- ①起床後と自宅または宿泊施設出発前に検温を実施。
- ②検温により、37.5℃以上の発熱者は、チームに帯同させず一時的に隔離すること。
状況により、病院受診または新型コロナウイルス感染症の症状がある場合は、「受診・相談センター」に連絡または相談し対応を検討すること。
なお、病院受診する場合は、大会本部に報告すること。
- ③宿舎では、基本的に個室を手配し、複数人で宿泊の場合、部屋内でのマスク着用の他、感染予防対策に努めること。
- ④宿泊施設は、感染予防対策を十分に行っている施設を選ぶ。
- ⑤食事は、隣同士の距離を空けて摂ることを心がける。
- ⑥原則、食事はビュッフェ形式を避けること。ただし、宿泊施設の都合によりビュッフェ形式の場合は、宿泊施設内の感染予防対策に従い食事を摂ること。
- ⑦他のチームと宿泊施設が一緒の場合には、食事時間に差をつけるなど、接触する機会

第4回全日本シニア軟式野球大会(ドックラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

を減らすこと。

- ⑥ミーティングを行う場合は、マスクを着用し、隣同士の距離を空けて行うこと。
- ⑦各自の部屋に集まったの飲食やマスクなしで大勢が集まり懇談することがないように注意すること。
- ⑧監督、コーチ、その他チーム関係者は、不要な外出は行わず、やむを得ず外出する場合は、マスクを着用すること。
- ⑨宿泊施設内の共有部分(ロビー、廊下、エレベーター等)では、マスクを着用すること。
チェックインやチェックアウトの手続きは代表者(少人数)が行うこと。
- ⑩外部との接触(面会・会食)は控える。

(2)移動について

- ①移動中は、マスクの着用と手指消毒を徹底する。
- ②移動中の車内換気を十分に行うこと。
- ③移動中の飲食には注意を払うこと。
- ④公共交通機関を利用する場合は、混みあう時間帯をなるべく避ける。

(3)会場到着後について

- ①「健康チェックシート」(様式は、全日本軟式野球連盟HPに掲載)を、記入し大会本部に提出する。
提出者は、チーム代表者1名とする。複数で来ることがないようにすること。
健康チェックシートの引き換えに、打順表を受け取ること。
健康チェックシートにおいて、体温が37.5℃以上あった者は球場への入場を禁止する。その場合、自宅または宿泊施設に当該者は戻ること。戻るときは、公共交通機関は使用しないこと。
また、その他のチームはバスや自家用車などで待機することとし、大会主催者側で球場入りの指示または出場辞退勧告をチームに告げる。
また、同チェックシートの質問に「有」とチェックがあった者の球場への入場の可否については、大会主催者がチーム代表者と協議して判断する。
- ②球場入口にて検温を行い、37.5℃以上あった場合は球場への入場を禁止する。
※球場入口での検温時に、発熱が発覚した場合は、チーム全員がバスに戻り、発熱者は公共交通機関以外の手段で宿泊施設または自宅に戻るか、病院受診をすること。
なお、移動の際は、他者と接触しないように配慮すること。
- ③球場入口にて手指消毒を行い入場する。
- ④球場内は、マスク着用とする。

第4回全日本シニア軟式野球大会(ドゥクラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

《試合前》

- ①控室ではマスクを着用し、密集、密接を避けるように努める。
- ②対戦チームならびに審判員、大会関係者等との接触は避ける。
- ③ウォーミングアップ時はマスクの着用は任意とする。
但し、熱中症には注意すること。
- ④試合前整列は、監督・主将はバッターボックス付近に整列し、その他の選手はそれぞれの塁線上に外野方向に整列すること。
握手はせずに、審判員の合図で一礼し試合が始まる。

《試合中》

- ①試合に出場している選手以外の控え選手及び監督・コーチ等のスタッフはマスク着用とする。(ベースコーチは除く)
- ②ダッグアウト内では、選手同士の間隔の確保に努める。
- ③素手でのハイタッチや握手を控える。
- ④唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する。
- ⑤ベンチ前の円陣や声出しは推奨しない。実施する場合は、一定の間隔を保つ。
- ⑥監督が選手交代や確認等にて球審に近づく場合は、マスク着用の上、一定の距離を取ること。
- ⑦投手交代等でマウンドに集まる際には、できるだけ選手、監督との距離をとり、可能な限り接触を避ける。
- ⑧チーム共用の道具については、こまめに消毒を行うこと。
- ⑨タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避けること。
- ⑩ベンチ内で出たゴミは各自持ち帰ること。

《試合終了後・ダッグアウトの入れ替え》

- ①チームは、大会主催者の指示を受けてから、グラウンドやダッグアウト入りする。
次チームの待機場所は、大会主催者の指示に従う。
- ②試合終了後、チームの選手、チーム関係者は速やかに道具をまとめてダッグアウトから出る準備をすること。その際は、マスク着用のこと。
- ③ダッグアウトを出る時には、極力、次チームとの接触は避けること。
※大会主催者側で動線の確認や入退場の指示をすること。
- ④次チームは、ダッグアウト内の消毒作業完了後、ダッグアウト内に荷物を入れる。
- ⑤取材対象者は、マスク着用でソーシャルディスタンスを保ち取材対応すること。

《大会中止および出場辞退勧告について》

大会主催者とし、事業・活動の可否判断は、「参加チーム選手、チーム関係者、審判員、

第4回全日本シニア軟式野球大会(ドックラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

大会運営者、その他関係者の安全確保が最優先」であり、主催者が総合的な判断を持って行う。

(1) 中止を検討しなければならない状況について

① 感染拡大が懸念される場合

- ・開催県および開催地の自治体により、感染拡大が懸念されると判断した場合。

② 不可抗力によりチームが大会に参加できない場合

- ・政府や都道府県内市区町村の自治体により大会参加に関わる部分的な制限が発令された場合。
- ・開催県および開催地より移動制限・イベント開催制限がある場合。

③ 辞退によりチームが大会に参加できない場合

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、チームが大会に参加できない場合を指す。
- ・大会出場チーム数の20%(目安)以上の辞退チームがあった場合、大会を中止することを検討する。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、チームが参加を辞退した場合、ペナルティは課さない。

(2) 出場辞退勧告について

- ① 主催者は、出場チームが十分な回復期間が確保されない場合は、原則として出場禁止または参加資格を取り消すことができる。
- ② 主催者は、大会までに陽性者の回復、濃厚接触者の隔離期間解除がなされない場合は、出場禁止または参加資格を取り消すことができる。
- ③ 主催者は、出場チームに感染疑いが生じて安全性の判明が間に合わない場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができる。
- ④ 主催者は、大会中に出場チーム(対戦相手チームの場合もある)に濃厚接触者や感染疑いが生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができる。
- ⑤ 主催者は、大会中に出場チームに37.5度以上の発熱者および別に記載の新型コロナウイルス感染症を考慮する症状を有する者が生じた場合は、出場辞退を勧告し、または参加資格を取り消すことができること。
- ⑥ 主催者は、対戦済みの相手(敗退したチーム)に感染疑いが発覚した場合、勝利して次戦がある当該チームに対して棄権を指示(勧告)できること。

第4回全日本シニア軟式野球大会(ドックラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

(3)回復期間について

- ① 新型コロナウイルス感染症と診断されたものは、当該地域保健所が指示する新型コロナウイルス感染症の療養完了日まで、指定場所で療養する。
- ② チーム内で新型コロナウイルス感染症と診断されたものが出た場合、発症日(症状が出た日)前日または前々日にチーム活動があった場合には、チーム関係者は感染可能期間に陽性者と接触していることから、濃厚接触の状況を保健所と確認し、状況把握が完了するまでチーム活動を自粛することを推奨する。
- ③ 前日、前々日とチーム活動がなかった場合(48時間以上接触がないといえる場合)、他に体調不良者が存在しないことを確認後、チーム活動を再開しても構わないが、その後体調不良者や感染を疑う症状者が出た場合には、状況把握が完了するまでチーム活動を再休止することを推奨する。
- ④ 活動の停止や大会参加への自粛が行われる場合、当該者はもちろん、選手間やチーム関係者等への誹謗中傷の防止に努めること。
- ⑤ 大会運営側は、個人が特定されないよう情報管理(体調不良者/感染疑い者/感染者など)の徹底に注意すること。

※新型コロナウイルス感染症は、発症2日前(48時間)から伝播する可能性があるため、伝播リスクがある期間の接触有無を基準としている。

※上記内容は、選手だけではなく、チーム関係者(チーム代表者、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー)の全てが対象となります。
大会前および大会期間中の体調管理ならびに行動にはくれぐれもご注意ください。

《観戦の感染予防対策について》

(1) チーム関係者のみ応援者の会場入りを認める(一般の観客は入れない。)

各チームで、応援者の取りまとめを行い、応援者の健康チェックシートの記入について周知すること。

① 球場入口(観客席への入口)にて検温の実施

※37.5℃以上の方の入場は禁止する。

② 「健康チェックシート(応援者用)」(様式は、全日本軟式野球連盟HPに掲載)を観客席入口のスタッフに提出すること。

※検温終了後に健康チェックシートを提出してください。

提出後に、『検温済シール』をお渡しします。着けているマスクに『検温済シール』を貼ってください。会場を出るまでシールを剥さないように注意して下さい。

※体調不良の方の入場は禁止する。

③ 入場の際は、手指消毒を行うこと。

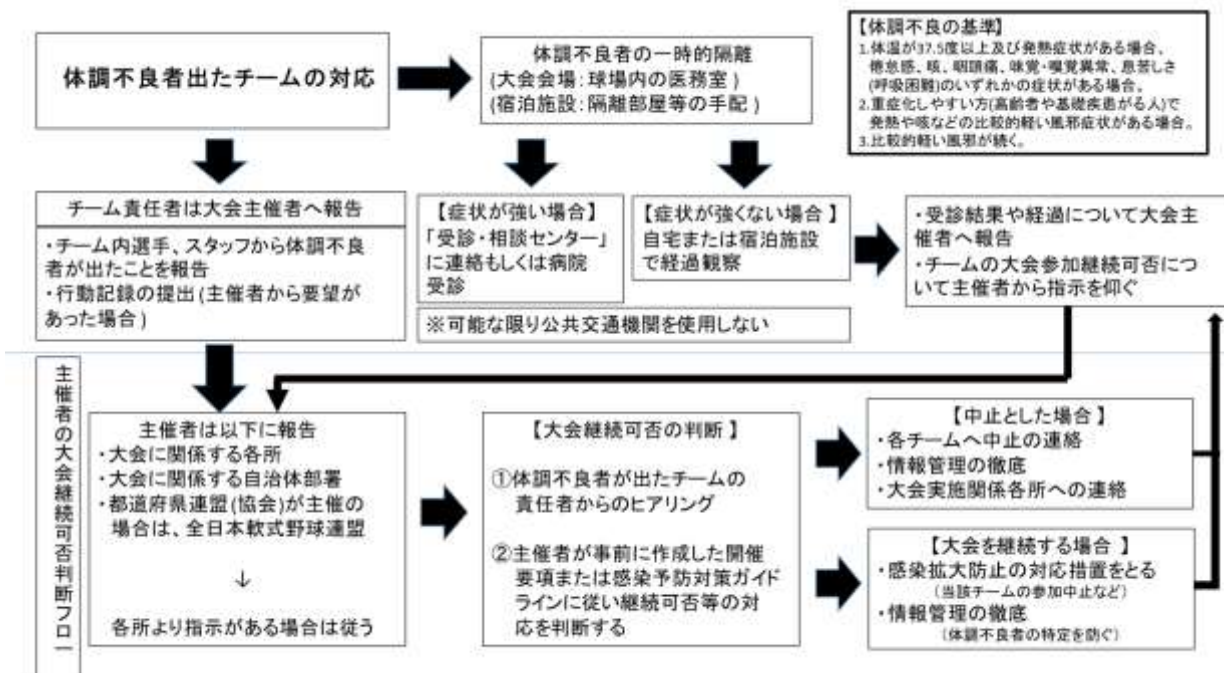
第4回全日本シニア軟式野球大会(ドックラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

- ④観客席内は、飲食時以外マスク着用。ただし、熱中症に注意すること。
- ⑤座席の間隔をあけて座ること。
- ⑥以下の注意事項を遵守してください。

拍手	○
通常の声援	○(大声や両手をメガホン代わりに使うことは禁止)
タオル等を横に広げて左右に振る	○(振り回すことは禁止)
ハイタッチ	×(手が触れなければ可)
鳴り物の応援	×(ラップ等の鳴り物を使用しての応援は禁止)
指笛の応援	×
ホイッスル等の鳴り物応援	×
メガホンを打ち鳴らし乍らの声援	×(歓声を抑えてメガホンを打ち鳴らすことは可)
肩組等集団での動きを伴う応援	×(チアリーディングによる応援も不可)

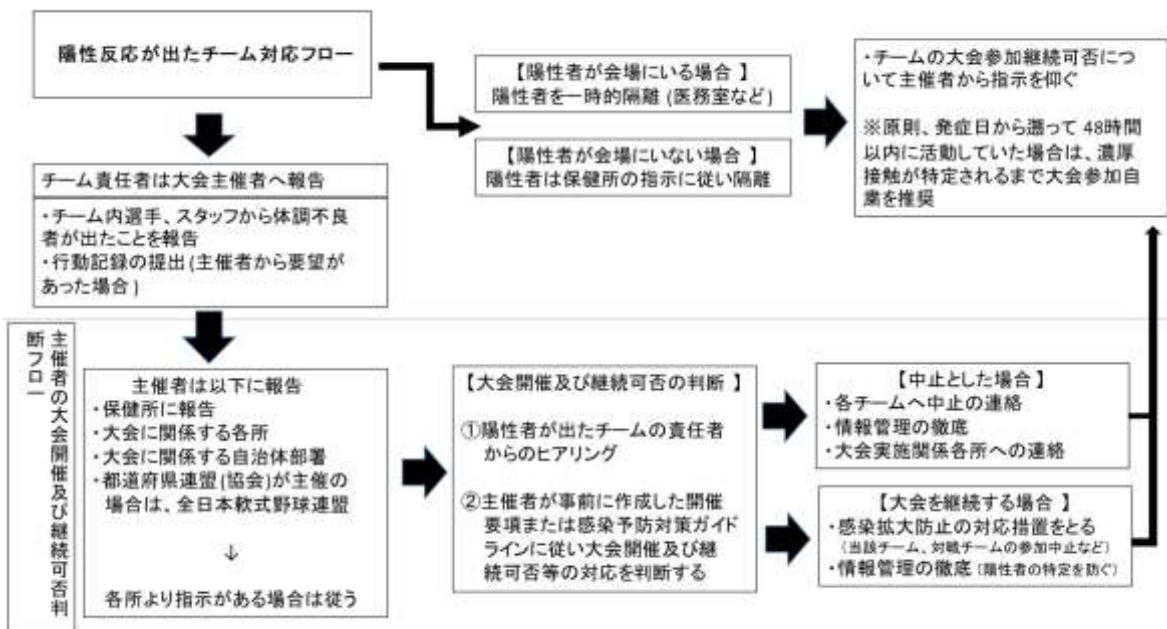
《大会中、体調不良者/陽性者/濃厚接触者が発生した場合のフロー》

①大会中に体調不良者が出た場合の対応フロー(選手・チーム関係者)

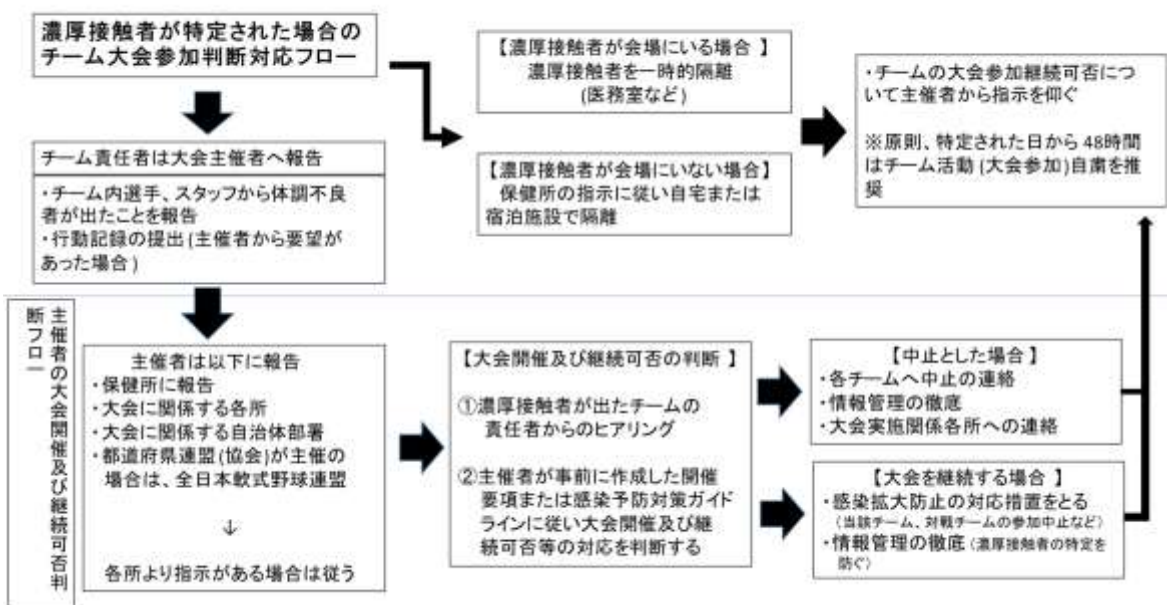


第4回全日本シニア軟式野球大会(ドクラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

②大会中に陽性反応が出た場合の対応フロー(選手・チーム関係者)



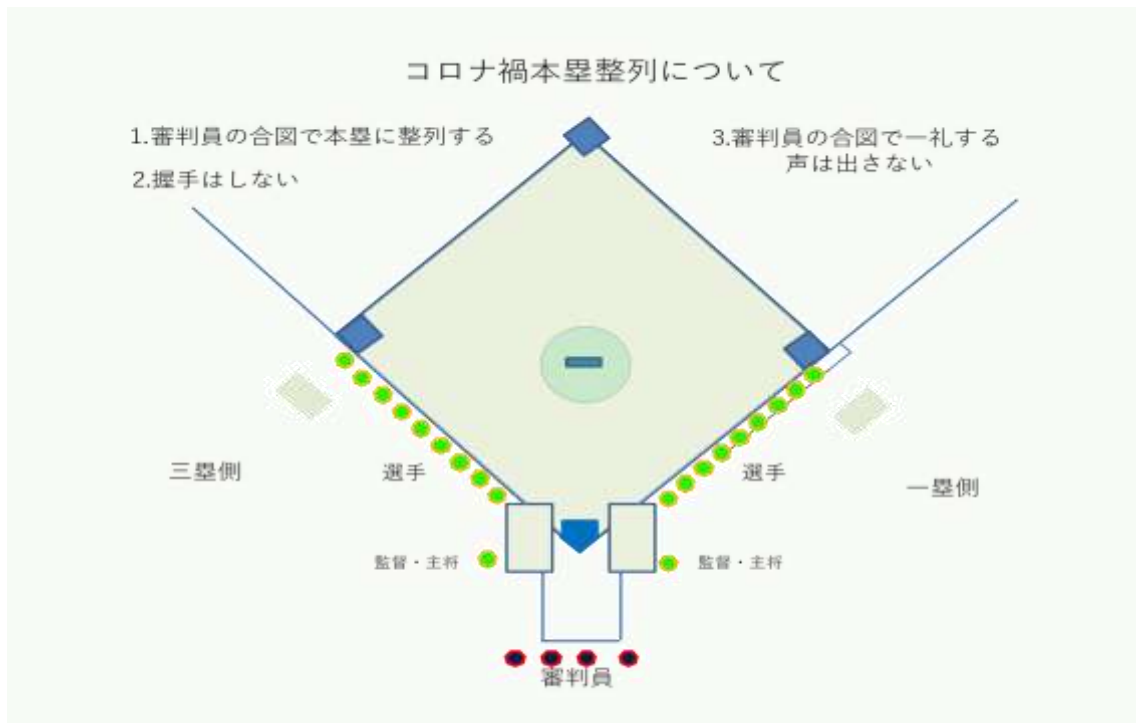
③濃厚接触者として特定された場合の大会参加判断フロー(選手・チーム関係者)



第4回全日本シニア軟式野球大会(ドゥクラッセトーナメント)に係る
新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン【選手・チーム関係者・応援者用】

【資料】

コロナ禍の本塁整列について(参考)



以上